

# 令和6年度 第1回 石川中央都市圏地域公共交通協議会 議事概要

## 【概要】

日時：令和6年7月30日（火） 15時00分～

場所：金沢歌劇座 大集会室

## 【次第】

1 開 会

2 議 事 等

- (1) 石川中央都市圏地域公共交通協議会 令和5年度収支決算報告 (資料1)
- (2) 石川中央都市圏地域公共交通協議会 規約の改正について (資料2)
- (3) 石川中央都市圏地域公共交通計画 達成指標の進捗報告 (資料3)
- (4) 石川中央都市圏地域公共交通協議会 令和6年度収支予算(案) (資料4)
- (5) 北陸鉄道線を中心とした広域公共交通ネットワーク再生戦略(案) (資料5)  
(北陸鉄道線鉄道事業再構築実施計画(案)等の概略)
- (6) 北陸鉄道株式会社からの報告 (資料6)
- (7) 石川中央都市圏地域公共交通計画 計画変更(案) (資料7)

3 閉 会

## 【会議の様子】



## 【議事記録】

### 1. 開会

#### 挨拶（会長）

今年は梅雨入りが遅かった年なので早く明けるかと思っていたが、多少長雨となった。それでもこの2、3日の東北の豪雨と比べると北陸は軽微だと思っている。

さて、今年1月末に本来であれば本協議会を対面で開催する予定だったが、元旦に能登半島地震が発生し、対面での開催を延期し、書面開催という形になった。今回は第1回の地域公共交通協議会ということで、地域公共交通計画の中の特に鉄道線、鉄道事業再構築実施計画についてご確認いただくこととなる。みなし上下分離方式という形で鉄道を存続することとなったので、今後15年間の計画を示さないといけない。重要な内容であるので、それぞれの立場で内容を確認いただきたい。どうかよろしくお願いしたい。

### 2. 議事等

- (1) 石川中央都市圏地域公共交通協議会 令和5年度収支決算報告
- (2) 石川中央都市圏地域公共交通協議会 規約の改正について
- (3) 石川中央都市圏地域公共交通計画 達成指標の進捗報告

#### (会長)

ただいまの報告に対してご意見等はあるか。特にご意見がないようなので、次の議題に移る。

- (4) 石川中央都市圏地域公共交通協議会 令和6年度収支予算（案）

#### (会長)

ただいまの議案に対してご意見・ご質問等はあるか。特にご意見がないようなので、ご承認頂ける方は拍手で承認頂きたい。

一同拍手にて承認

- (5) 北陸鉄道線を中心とした広域公共交通ネットワーク再生戦略（案）  
（北陸鉄道線鉄道事業再構築実施計画（案）等の概略）
- (6) 北陸鉄道株式会社からの報告

#### (会長)

ただいまご説明いただいた内容について、ご意見・ご質問等はあるか。

#### (A委員)

みなし上下分離方式とあるが、鉄道事業法に基づく第1種鉄道事業者から何か変わるところはあるのか。また、今後のスケジュール（予定）について、8月の国土交通大臣への申請とは、具体的にどのような申請になるのか。

**(事務局)**

第1種鉄道事業者についてだが、これは鉄道施設や車両を鉄道事業者が保有して、自ら運送するものをいう。今回のみなし上下分離方式については、鉄道施設の所有権は引き続き北陸鉄道が保有するものであり、第1種鉄道事業者からの変更はない。ただ、あたかも所有権を行政に移したかのように、鉄道施設の維持管理に要する費用を国の定める基準に従って行政が支援する仕組みが、みなし上下分離方式である。

大臣への申請については、鉄道事業再構築実施計画を地域公共交通計画活性化再生法に基づき策定をし、国土交通大臣の認定を得るということで国の手厚い支援を受けるというものであり、今回スライドでお示しした内容を計画の文章に落とし込み、今後申請することとなる。

**(会長)**

資料5のP13に全体費用が掲載され、14ページから具体的に講じる施策が示されている。事業主体がどこか、行政がどのように支援を行うのか、また時期についても記載されており、車両の更新については令和10年となるようだが、なにかご意見はあるか。

**(B委員)**

資料5の17ページにある、石川線増便や運行ダイヤの変更に関して、増便については、新型車両の導入にあわせて令和10年から実施と記載されているかと思うが、資料にある令和6年先行実施の内容について詳しく伺いたい。

**(事務局)**

令和6年からの先行実施とさせていただいている石川線の増便、ダイヤ変更については、今年の3月16日の北陸新幹線敦賀延伸開業と合わせて実施したものである。石川線については、コロナ禍で昼間の時間帯が1時間1本に減便をしてしまっていたが、現在稼働可能な5編成をフル活用し、なんとか増便できないか、それにより運行間隔を40分程度にできないか等を北陸鉄道様にご検討いただき、3月16日から実施いただいたもの。また、IRいしかわ鉄道と西金沢駅で接続しているので、IRいしかわ鉄道の発着に合わせて石川線を発着させるなど、ダイヤ変更を行っていただいている。

**(B委員)**

今回の施策、全体の再構築の趣旨を説明頂いたが、正に鉄道線が公共交通利用者だけでなく、地域全体に大きな価値をもたらすものであり、だからこそ地域の財産として守っていくのだと冒頭で説明頂いた。今回、15年間の計画で地域の皆さんで支えながら、利便性向上を図っていくということだと思うが、その意味では、中長期的な目線では公共交通の利用にむけて、まちづくりとの連携、都市計画部署との連携が一層大事だと思っている。この計画書そのものに入れるというものではないと思うが、都市計画部署との連携について現時点で想定されるものがあれば御教示頂きたい。

**(事務局)**

まちづくり、都市計画との連携は重要な視点であり、国からもご指摘いただいている。金沢市をはじめ各市町においては、人口減少の中でメリハリをつけて都市の密度を守っていきこうと、立地適正化計画を順次作成するという流れになっている。例えば、金沢市においては集約都市形成計画として策定しているが、その中では、鉄道線や路線バスが多く走っている路線沿線を居住誘導区域、都市機能誘導区域として位置付け、公共交通とまちづくりはセットで進めていくものとしている。市町で考え方は違うが、金沢市としてはそのような考え方で進めている。公共交通がいつなくなるか分からない中で、公共交通を使いやすくなるようまちづくりを進めていきたい。

他方、市民からは、免許を返納し、気づいたらバス路線がなくなっているとお叱りを受けることもある。車は便利であるが、たまにでも公共交通を使いたいと思ってもらえるような、例えば、まちなかでお酒を楽しんでもらえるような取組には公共交通を使っていたく、スポーツを楽しめる取り組みなど、皆様からご指摘いただきながら取り組んで参りたい。

**(会長)**

これから15年を考えると沿線人口も減ってくるだろうし、特に年少人口、鉄道の主要な利用者である高校生が減るので、今使っている人以外の属性の方に、いかに鉄道を利用していただくかが、これからの一番重要な点であり、利便性向上に向けた沿線の自治体、企業そして北陸鉄道のご努力に期待するところである。他にご意見がなければ、報告事項ではあるが、ご確認いただいたということで、内容について拍手で承認頂きたい。

一同拍手にて承認

**(7) 石川中央都市圏地域公共交通計画変更(案)**

**(会長)**

ただいまの議案に対してご意見・ご質問等はあるか。主な事項は赤字で記載されている。また、これまでと大きく変わるところは実施主体に石川県が加わることが明記されているところである。特にご意見がないようであるので、ご承認頂ける方は拍手で承認頂きたい。

一同拍手にて承認

**3. 閉会**